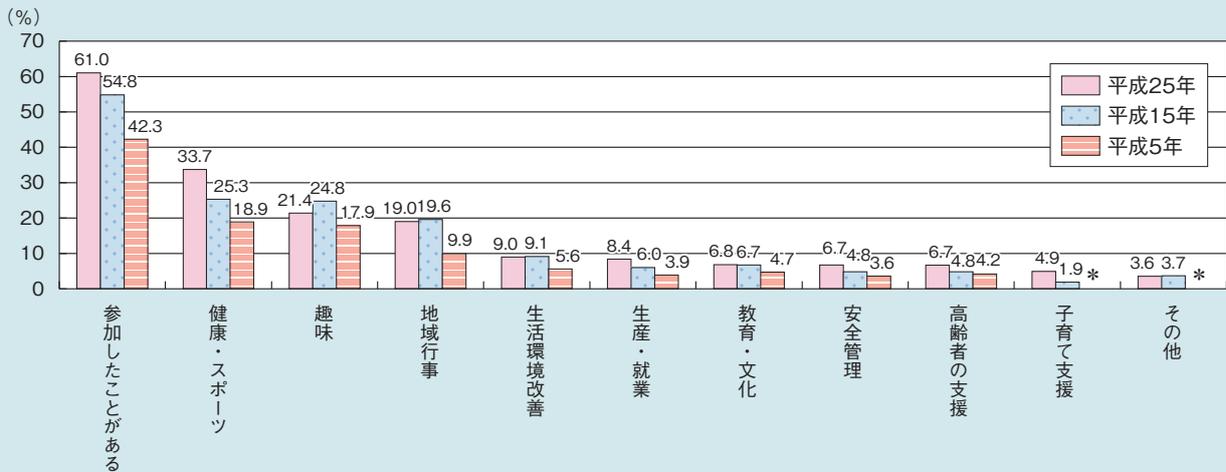


5 高齢者の社会参加活動

○ 60歳以上の6割が趣味なども含めたグループ活動に参加したことがある

・60歳以上の高齢者の61.0%（平成25（2013）年）は何らかのグループ活動に参加したことがある、20年前（5（1993）年）に比べると18.7ポイント増加している（図1-2-31）。

図1-2-31 高齢者のグループ活動への参加状況（複数回答）



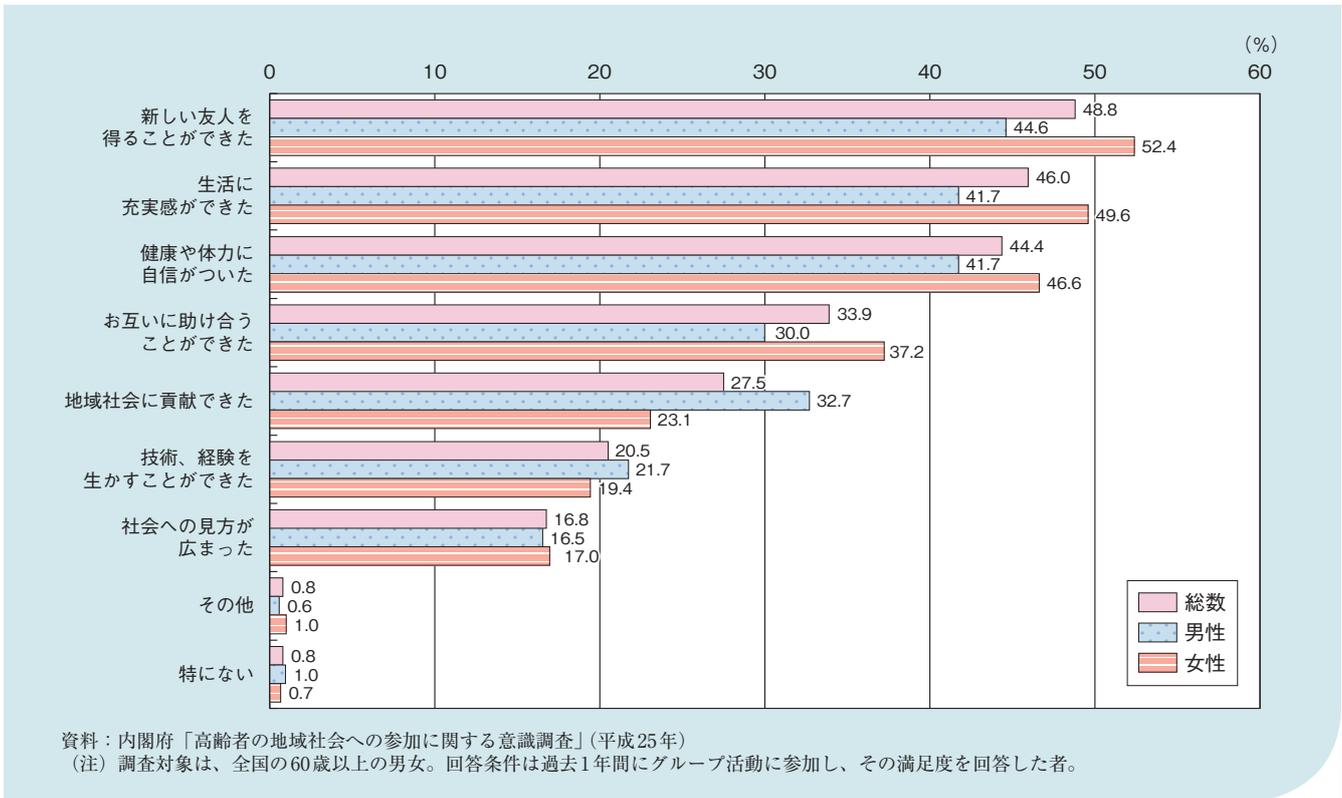
資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成5年、15年、25年）

（注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女で、この1年間に行った活動について聞いたもの。

（注2）*は、調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

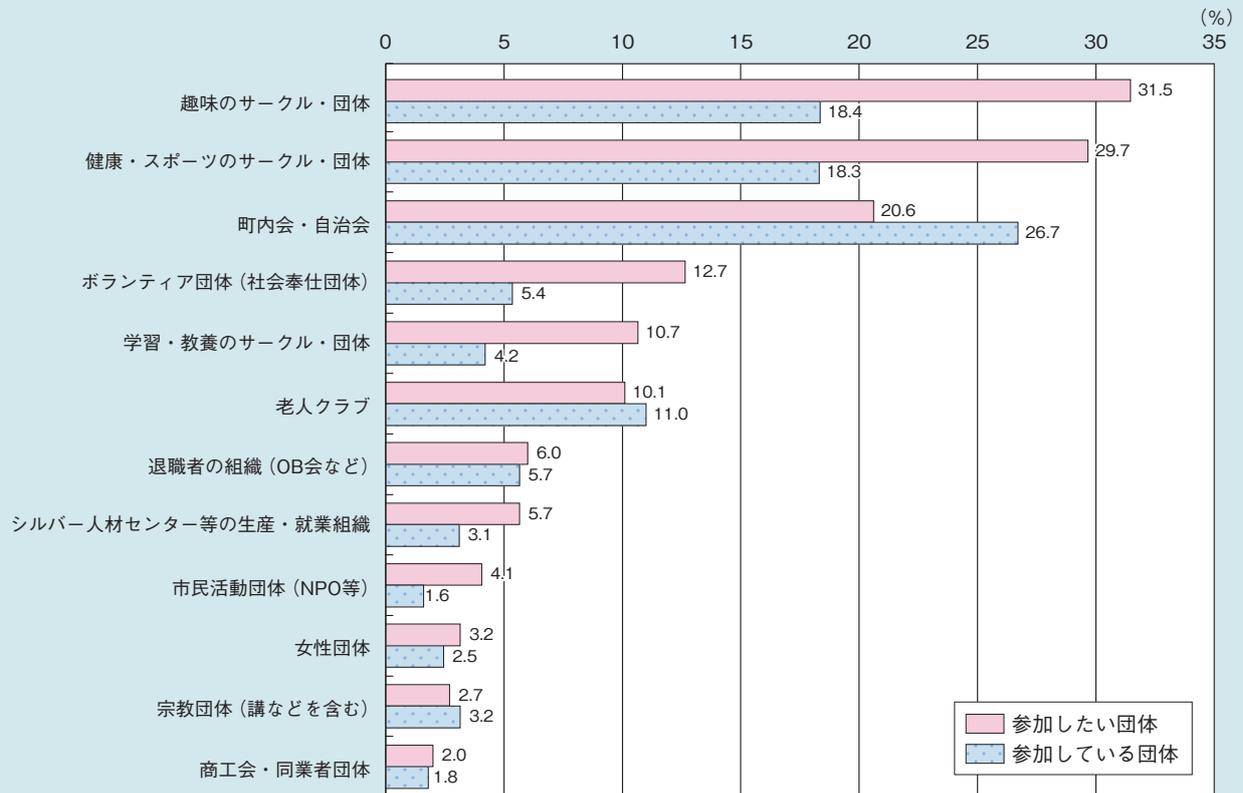
- ・自主的なグループ活動に参加したことがある高齢者が活動全体を通じて参加してよかったことは、「新しい友人を得ることができた」(48.8%)が最も多く、次いで「生活に充実感ができた」(46.0%)、「健康や体力に自信がついた」(44.4%)の順となっている(図1-2-32)。

図1-2-32 高齢者のグループ活動参加による効果(複数回答)



・高齢者が参加したい団体をみると「趣味のサークル・団体」(31.5%)が最も多く、次いで「健康・スポーツのサークル・団体」(29.7%)となっている。一方で、参加している団体をみると、「町内会・自治会」(26.7%)が最も多く、約4人に1人が参加している(図1-2-33(1))。

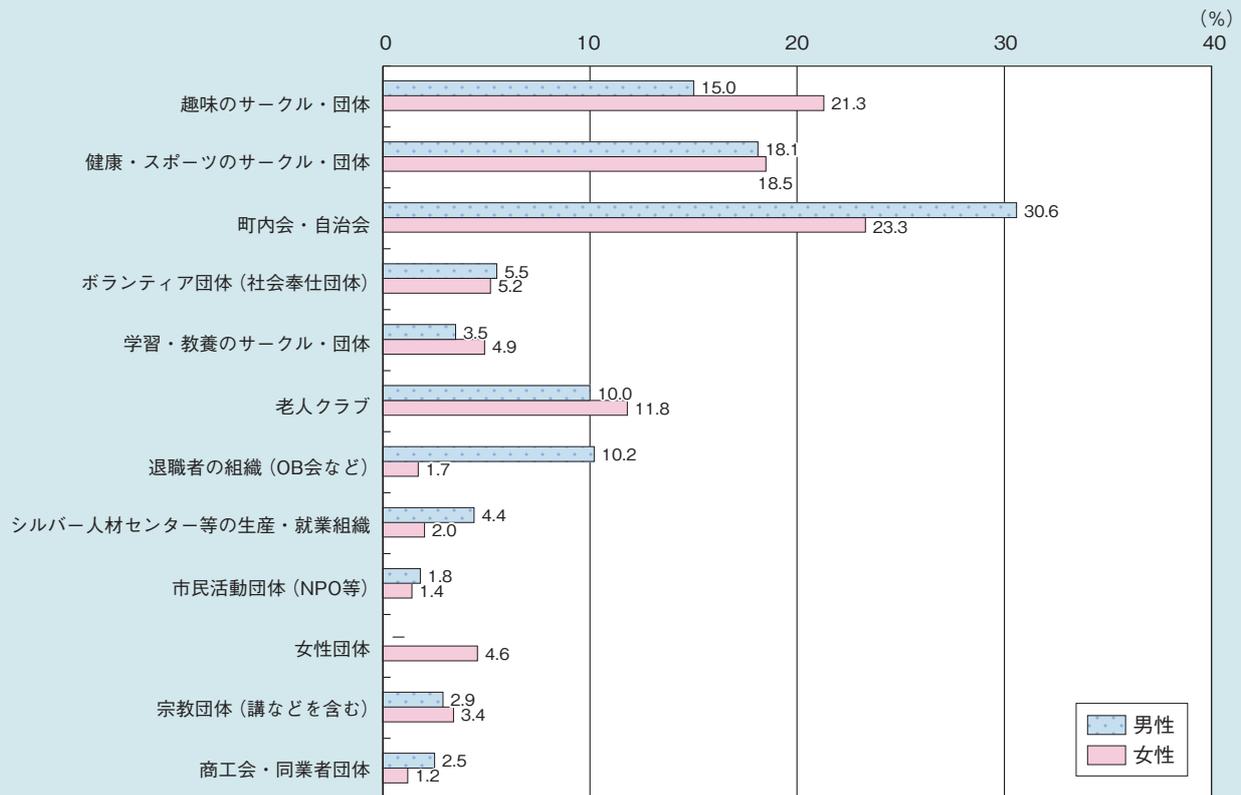
図1-2-33(1) 参加したい団体と参加している団体(複数回答)



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成25年)
 (注1) 調査対象は、全国の60歳以上の男女
 (注2) 「その他」や「参加したくない」などの回答を除く

・参加している団体を男女別にみると、男性は女性に比べて町内会・自治会や退職者の組織（OB会など）等への参加率は比較的高いが、趣味や健康・スポーツ、学習・教養などの場への参加率は比較的低い（図1-2-33（2））。

図1-2-33（2） 参加している団体（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）

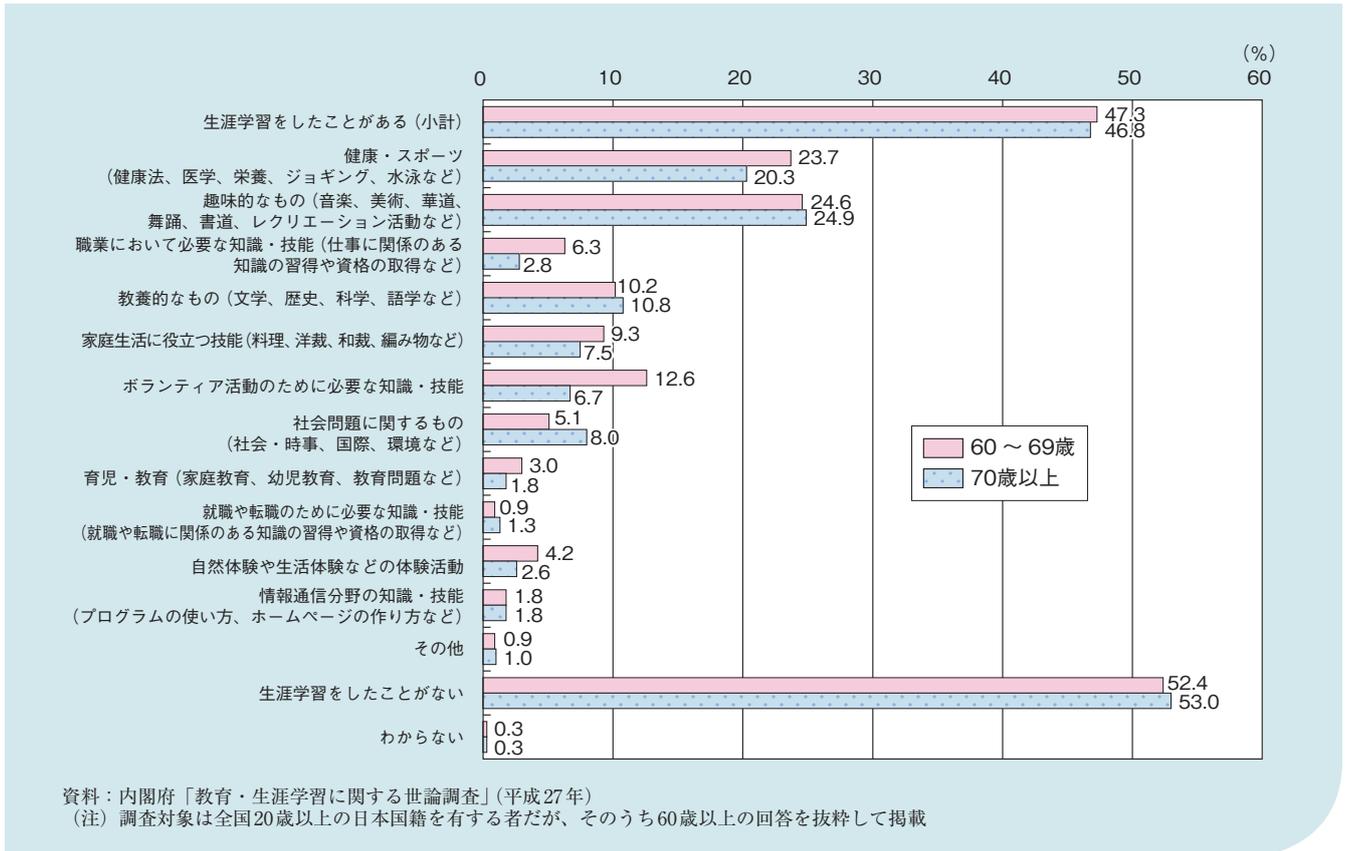
（注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女

（注2）「その他」や「参加したくない」などの回答を除く

○生涯学習を行っている高齢者は4割以上

- ・高齢者の生涯学習への参加状況についてみると、この1年くらいの間に生涯学習をしたことのある人は、60代でも70歳以上でも4割以上となっている。内容は、「趣味的なもの」が最も多く、60代で24.6%、70歳以上で24.9%となっている（図1-2-34）。

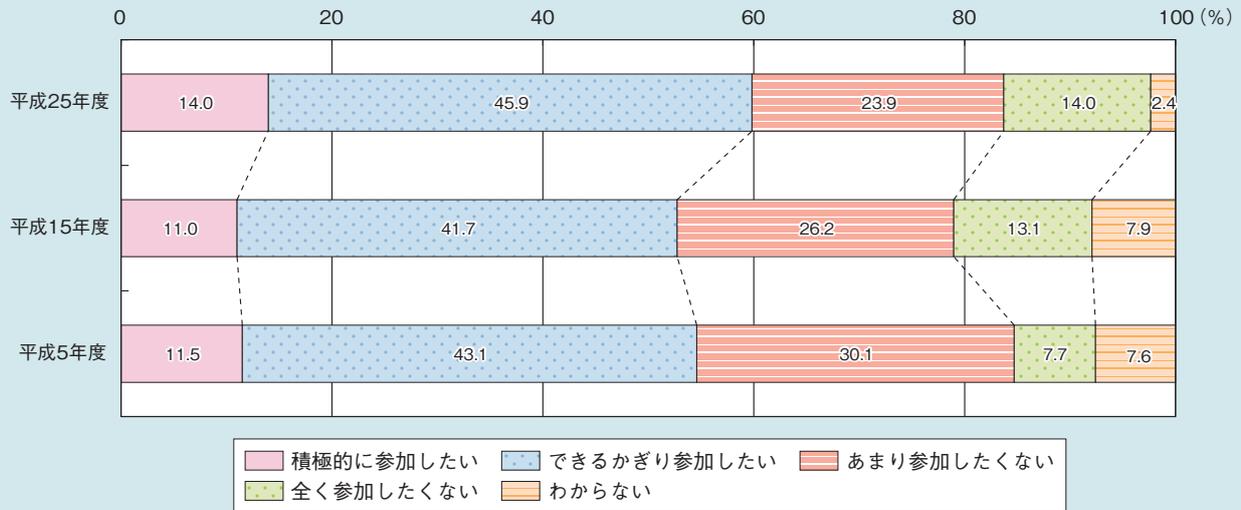
図1-2-34 高齢者が行っている生涯学習（複数回答）



○約6割の高齢者が若い世代との交流に参加したいと考えている

- ・高齢者の若い世代との交流への参加意向についてみると、「積極的に参加したい」「できるかぎり参加したい」と回答した人の合計は平成25（2013）年で59.9%となっており、10年前（15（2003）年）に比べると7.2ポイント増加している。（図1-2-35）。

図1-2-35 若い世代との交流の機会の参加意向



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）
 (注) 調査対象は、全国の60歳以上の男女

6 高齢者の生活環境

○高齢者のいる主世帯の8割以上が持ち家に居住している

・高齢者のいる主世帯について、住宅所有の状況を見ると、持ち家が82.7%と最も多い。ただし、世帯別にみると、高齢者単身主世帯の持ち家の割合は65.6%となり、高齢者のいる主世帯総数に比べ持ち家の割合が低い（図1-2-36）。

図1-2-36 住居の状況



資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」（平成25年）
 (注) 主世帯とは、住居と生計を共にしている家族や一戸を構えた単身者の内、同居世帯（1つの住宅に2世帯以上居住している世帯の内、家の持ち主や借り主でない世帯）以外の世帯を指す。